



いなむら

# 稲村ひさお 道政だより

2012年 夏号

発行

稲村ひさお事務所  
砂川市晴見3条北10丁目9番4号  
TEL・FAX 0125-54-3385

## 日々奮闘 よりよい地域づくりを目指して

昨年4月に行われた北海道議会議員選挙から早くも1年と4ヶ月が過ぎようとしており、1期目の4年間とは異なる議員生活を送らせていただいております。

民主党・道民連合の政策審議会筆頭副会長として数多くの政策審議を経る中で、これまで取り組んできた地域医療、自治体財政、産炭地の振興、消防などの課題に加え、新たな分野、異なる地域の課題克服に臨んでいます。このように、皆様からお与えいただいた立場で活動させていただいていることに、改めて感謝を申し上げます。

今冬、南空知を中心とした雪害に悩まされた方も多かったのではないのでしょうか。被害にあわれた皆様に改めてお見舞いを申し上げます。

国政においては、「国民の生活が第一」を掲げ民主党が政権を奪取してから3年が経とうとしています。

政局ばかりがクローズアップされ、消費税・社会保障・エネルギー問題などに多くの皆様が不安を抱いているのではないのでしょうか。国民生活に影響のあるこうした課題は、国民的な議論を踏まえて解決されなければなりません。

道政においても泊原発再稼働問題や再生可能エネルギーへの対応、地域医療の確保などの課題が山積しております。今後も地域の皆様とともに議論を深め、しっかりと道政に反映するよう日々奮闘していきます。変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、本格的な夏を迎えますが、体調管理には十分ご留意され、元気に夏をお過ごしください。



道議会で皆様の声と私の想いを伝えます！

北海道議会議員 稲村久男

## 2012 稲村ひさおを囲む集い



8月19日（日）午後4:00～  
砂川市地域交流センターゆう  
会費 1,500円

皆様とお話できることを楽しみにしています。  
抽選会もありますので、ぜひお越しください。

お問合せ：稲村ひさお事務所  
TEL：0125-54-3385



稲村ひさおホームページ <http://www.i76rider.ecweb.jp/>

稲村ひさお 検索

# 議会活動報告

昨年春に2期目の議席を頂いてから1年余り、会派の政策審議会筆頭副会長として北海道を取り巻くあらゆる政策課題に関して、地域の皆様との意見交換、道議会における議論、国への要望などの場で日々活動を続けています。

また、空知の課題解決は私の活動の大きな柱であり、道議会における質疑のほか、例えば産炭地域の活性化については、産炭地域議員連盟の会長として、夕張市・北海道・国の三者協議に向けた問題点の洗い出しや、石炭・ガス資源を活用した過渡的エネルギーの可能性等について議論を進めるといった取り組みを行ってきました。

以下に、前回の道政だより以降の道議会における質疑を抜粋してご報告いたします。

## ■建設委員会では「北海道住生活基本計画」

1月に行われた建設委員会において、北海道の住宅政策の基本的な計画である「北海道住生活基本計画」の見直しに関連し、高齢者や子育て世帯を支援する住宅整備を求めるとともに、道内に約16万7千戸ある公営住宅の老朽化への対応策について質問しました。

これに対して道は、高齢者向けシルバーハウジングや道営子育て支援住宅を整備する方向性を示し、また、公営住宅については約45%が築後30年以上経つことから、改修により居住性を向上させながら有効活用を図るなどと答えています。

## ■第1回定例会における一般質問

### (1)市町村立病院の経営健全化

市町村立病院を持つ市町村長が医師・看護師などを確保するために、自ら全国を飛び回っている状況を訴えながら、病院経営の改善に向けた地方交付税交付金の増額などを強く求めました。

知事からは、市町村立病院が不採算部門も担っていることから経営面で厳しい状況にあることを踏まえ、地方財政措置が充実されるよう市長会・町村会と連携しながら、国に対してさらに強く要望していく旨の答弁を引き出しています。

### (2)地域医療の確保

道は今年度、北海道医療計画を見直すとしていますが、医師・看護師の偏在や患者の受診状況等を踏まえて二次医療圏を見直し、医師の相互派遣など医療機関の連携体制を構築すべきと主張しました。

知事も同様の認識を示し、適切な二次医療圏を設定すると答えましたが、私は地域医療の危機的な現状を考えた時、早急な対応が求められることを強く指摘しました。

### (3)夕張市の財政再生

夕張市では若い市長が先頭に立って財政再生に取り組んでいる状況や、財政再生を他人事のように考えてはいけないと前置きしたうえで、今後の道の支援策や夕張市・北海道・国の三者協議について質疑しました。

知事からは、再生振替特例債の利子負担への補助や貸付金の借換え、職員派遣など、今後もできる限り夕張市を支援していくとの答弁を得ました。また、三者協議に関しては、第1回目を7月頃に行う予定であり、夕張市の考えをよく聞き、市民生活を守る観点から協議内容を検討していることを確認しています。

### (4)消防救急無線のデジタル化

住民の安心・安全を確保する消防活動に不可欠な消防救急無線は、平成28年5月までにアナログからデジタル方式に移行しなければなりません。しかし、多額の費用を要することから、道内全ての消防本部が期限までに移行できるか疑問があるため、道の積極的な対応を追求しました。

知事は、確実にデジタル化できるよう、事業費の低減や技術的な課題を関係機関と協議するほか、国へ財政支援を要望することを約束しました。

## ■第2回定例会では代表格質問

第2回定例会では、民主党・道民連合議員会を代表して代表格質問を行いました。代表格質問とは、議会の冒頭で行われる会派を代表しての質問であり、発言時間も長く与えられています。

内容は道政全般にわたる幅広いものであり、原発・エネルギー政策のほか、経済・雇用対策、地域医療、HAC(北海道エアシステム)、教育課題などについて質問しました。

紙面に限りがあるため、質疑の内容は別の機会に報告させていただきます。

## 稲村ひさおの活動アルバム Activity record



委員会でもしっかり質問



知事に力強く質問します



民主党第10区定期大会



各地のメーデーを訪問



関係団体と意見交換



視察先でもひたむきに勉強